

内容

<p>管理運営に関する基本方針 蓋井島住民の健康と福祉の増進を図るために、昭和45年に建設された本館は、島民の健康管理に関する行事や様々な島民の会合に利用されてきた。離島という地域性から利用者は専ら蓋井島住民に限られるが、蓋井島住民を特に優遇しているわけではなく、島外からも利用者があれば平等に取り扱う。また管理運営についても利用者の安全確保を第一とし、利用者の意見を聴き開館以来45年にわたって管理してきた。以上のことより今後とも引き続き自治会にて管理運営をしていきたい。</p>					
<p>業務の安全成績</p>					
	事故発生 件数	死亡	重傷	軽傷	事故の原因 及び善後策
	0件	0人	0人	0人	
<p>安全面に関する方策 当福祉館にて働く漁協職員(自治会員)3名は、避難訓練及び救命救急の講習を自治会の人達とともに実施しています。</p>					
<p>福祉政策に関する取り組み状況 障害者の雇用の有無(人雇用・雇用なし) : いずれかを記入</p>					
<p>施設管理について</p>					
<p>1 職員配置(指揮命令系統がわかる組織図を含む。) 自治会長の下に自治会員3名</p>					
<p>2 職員の研修計画 職員は漁協に勤務しているので、個人情報保護の大事さなどコンプライアンスについて周知しています。</p>					
<p>施設運営について</p>					
<p>1 年間の事業計画(「事業実施計画」は、別に添付すること。) 毎月1回下関市立市民病院 3ヶ月に1回保健士健康相談 週に1回マッサージ協会施術</p>					
<p>2 サービス向上のための方策 利用者の話を聞き、随時対応するようにしている。</p>					
<p>3 利用者等の要望の把握及び実現策 利用者の話を聞き、随時対応するようにしている。</p>					
<p>4 利用者のトラブルの未然防止及び対処方法 利用時に説明して理解を得ている。</p>					

5 その他(地域との連携、他施設との連携等) 島民のほとんどは水産業関係に従事しており、漁協組合員がすべて自治会員です。隣接して漁協所有の漁村センターがあり、本施設と常に連携をとりながら島内の中枢的な役割を担っている。本施設に島民の生活の安定と福祉の増進を図るために、漁協の事務所を置いていることから密接な関係であります。

個人情報の保護の措置について その都度対応している。

緊急時対策について

1 防犯、防災の対応 別紙のとおり

2 その他緊急時の対応 別紙のとおり

その他特記事項 山口県離島振興計画(平成25年度から平成34年度)に基づき島内の振興が図られている。

- 注 1 「事業」とは、市が主催し、指定管理者が実施する各種講座、講演会等をいう。
2 欄が不足する場合は、別紙を添付してください。

様式第3号

収支計画書(平成28年度～平成33年度)

公の施設の名称(下関市蓋井島保健福祉館)

区分		金額(千円)	内訳
収 入	市からの委託金	0	
	その他	99	
収入合計(A)		99	
支 出	人件費	0	
	事務費	2	消耗品2,000円
	事業費	0	
	管理費	97	修理費10,000円 電気水道87,000円
支出合計(B)		99	
収支(A)－(B)		0	

- 注 1 年度とは、4月から翌年3月までをいう。ただし、年度の途中で公の施設が設置されたときは、初年度に限り、設置の日から翌年3月までを年度とする。
- 2 指定の期間が複数の年度にわたるときは、年度ごとに作成すること。